

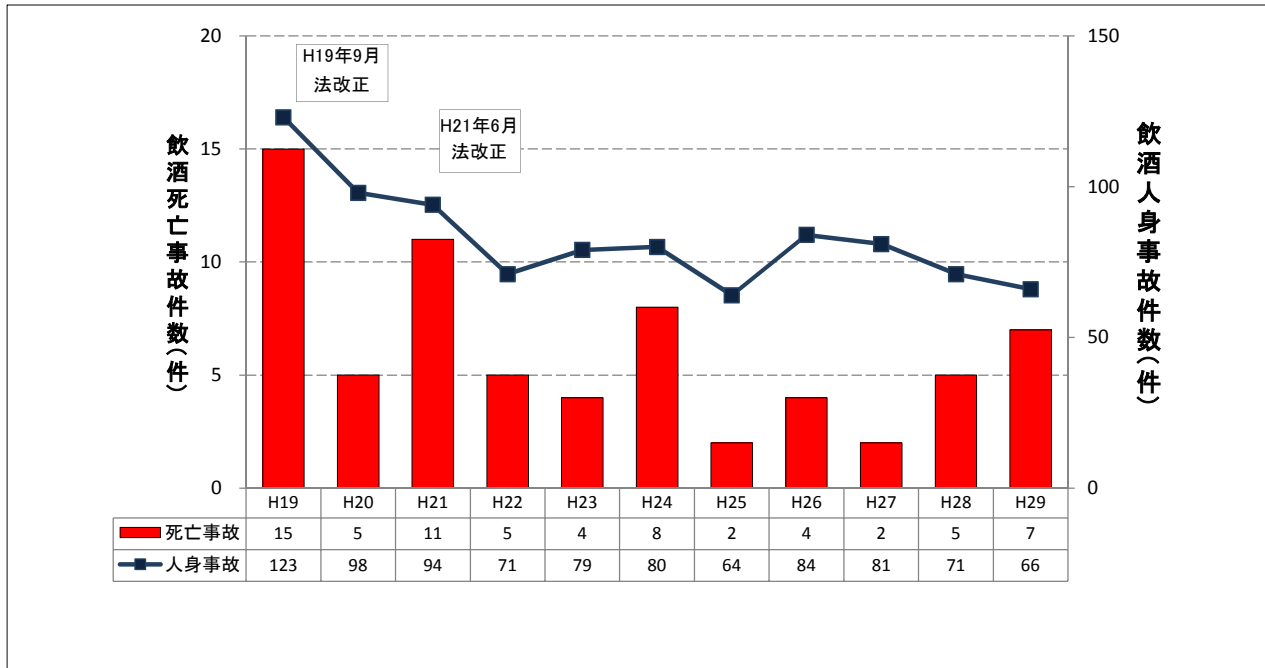
飲酒運転による交通死亡事故分析(5年間・平成25～29年)

1 飲酒関係事故の推移(死亡事故)

(1) 飲酒運転事故の推移

飲酒関係の死亡事故はH14年の道路交通法改正後に減少傾向にあり、H19年には15件の発生があったもののH29には7件の発生となり、H19年当時と比較する昨年は半分以下にまで減少した。しかし、最近3年間については微増傾向にあり、未だ飲酒運転の根絶には至っていない。

○ 飲酒運転による交通死亡事故の推移

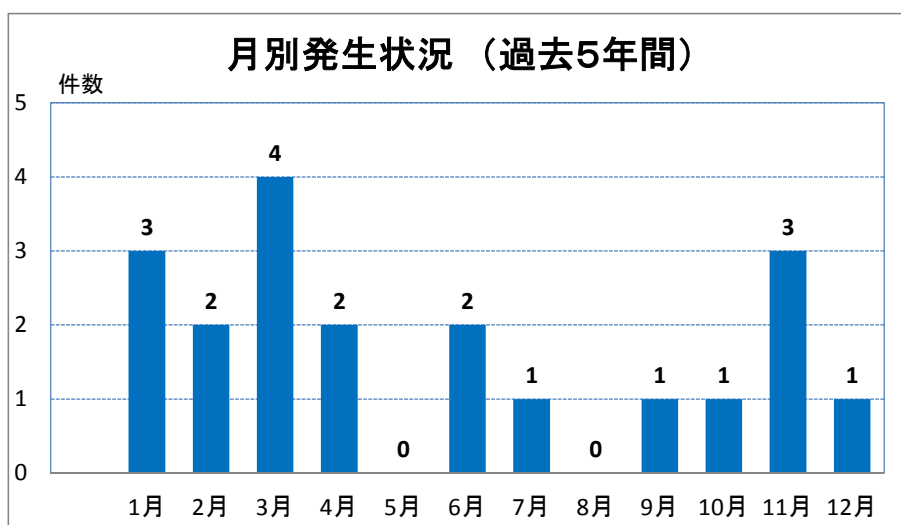


注1: 飲酒運転事故件数は、原付以上の第1当事者による事故件数をいう。(以下同じ) 2: 死亡事故件数は、人身事故件数の内数。

2 過去5年間の飲酒運転事故

(1) 飲酒運転事故の月別発生状況

過去5年間の月別発生状況をみると、飲酒の機会の多い年末年始や歓送迎会のシーズンにおける発生が目立つ。

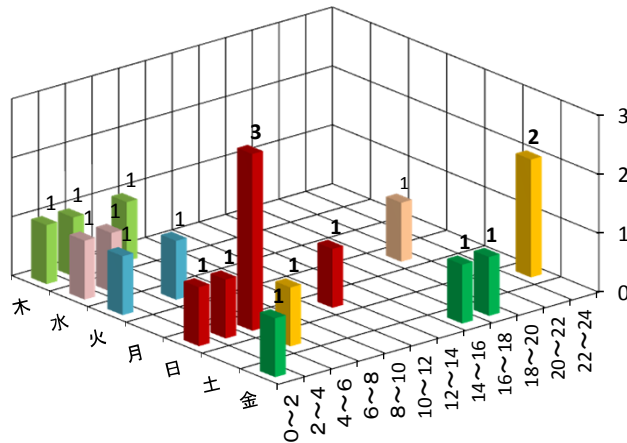


(2) 曜日・時間別死亡発生状況

時間別では、20時から翌朝8時までの間に全体の8割が発生している。

曜日別では、土曜・日曜をあわせて5割近くを占めていることから週末の発生が多く、土曜の夜間から日曜の朝にかけての発生が4割を占め目立つ。また、全体的に午前0時から午前4時の発生が多い。

時間/曜日	日	月	火	水	木	金	土	合計	構成率
0~4	2	0	1	2	2	1	0	8	40.0%
4~8	3	0	1	0	1	0	1	6	30.0%
8~12	1	0	0	0	0	0	0	1	5.0%
12~16	0	0	0	0	0	1	0	1	5.0%
16~20	0	1	0	0	0	1	0	2	10.0%
20~24	0	0	0	0	0	0	2	2	10.0%
合計	6	1	2	2	3	3	3	20	100.0%
	30.0%	5.0%	10.0%	10.0%	15.0%	15.0%	15.0%	100.0%	-

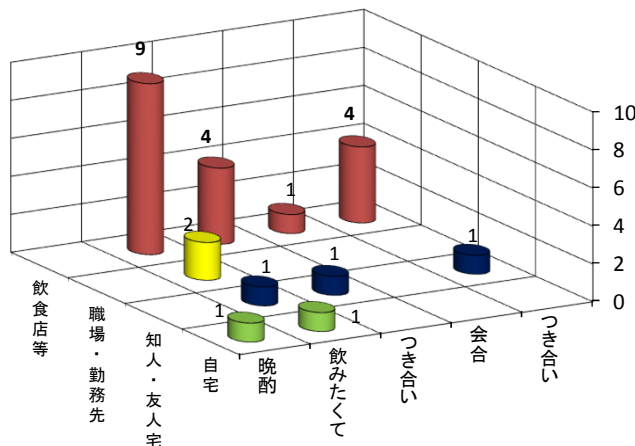


(3) 飲酒場所と飲酒動機

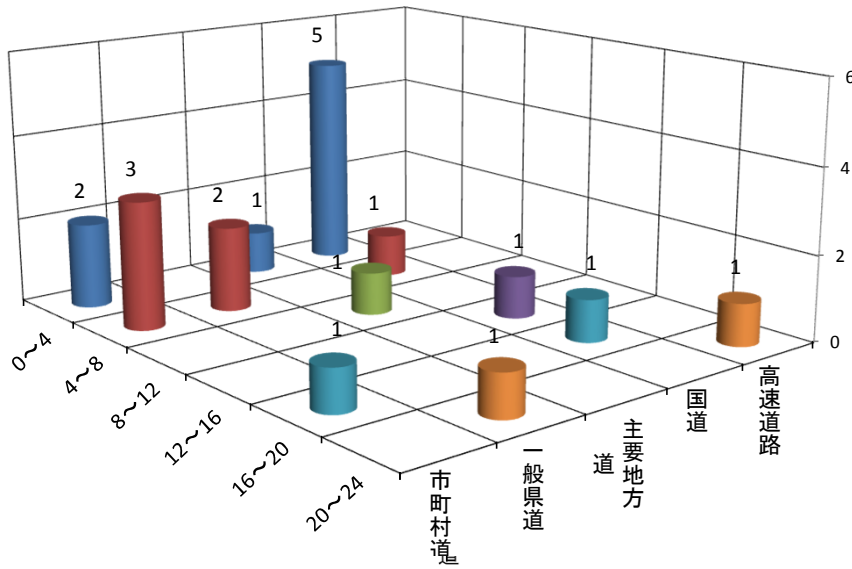
死亡事故を起こした飲酒運転当事者の飲酒の動機・飲酒場所をみると、飲酒場所では飲食店等が7割を占めている。また、飲酒の動機では「飲みたくて」が7割近くを占め、次いで「付き合い」が目立つ。

過去の法改正による罰則強化等の影響もあり、動機が「会合」「冠婚葬祭」による事故は減少したが、飲食店等における「飲みたくて」による飲酒事故は他と比較しても依然として高い割合を占めている。

動機/場所	自宅	知人・友人宅	職場・勤務先	飲食店等	旅館・ホテル等	ドライブイン	車内	合計	構成率
晩酌	1	0	0	0	0	0	0	1	5.0%
付き合い	0	1	0	4	0	0	0	5	25.0%
冠婚葬祭	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
会合	0	0	0	1	0	0	0	1	5.0%
飲みたくて	1	1	0	9	0	0	2	13	65.0%
合計	2	2	0	14	0	0	2	20	100.0%
	10.0%	10.0%	0.0%	70.0%	0.0%	0.0%	10.0%	100.0%	-

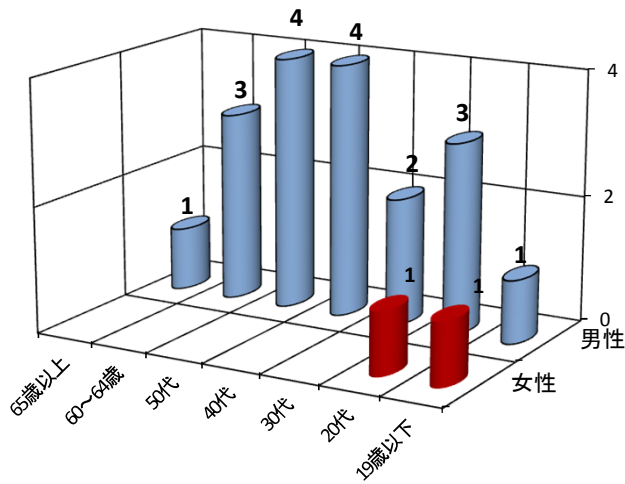


(4) 時間帯・路線別発生件数

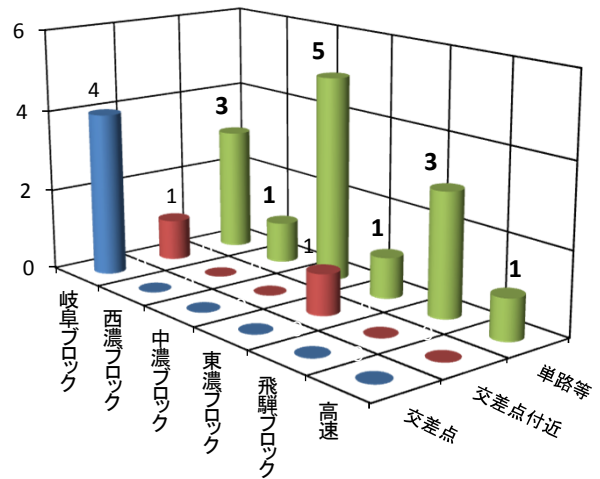


国道での発生が8件で全件数(20件)の4割を占めており、特に午前0時から午前4時の発生が5件と目立つ。

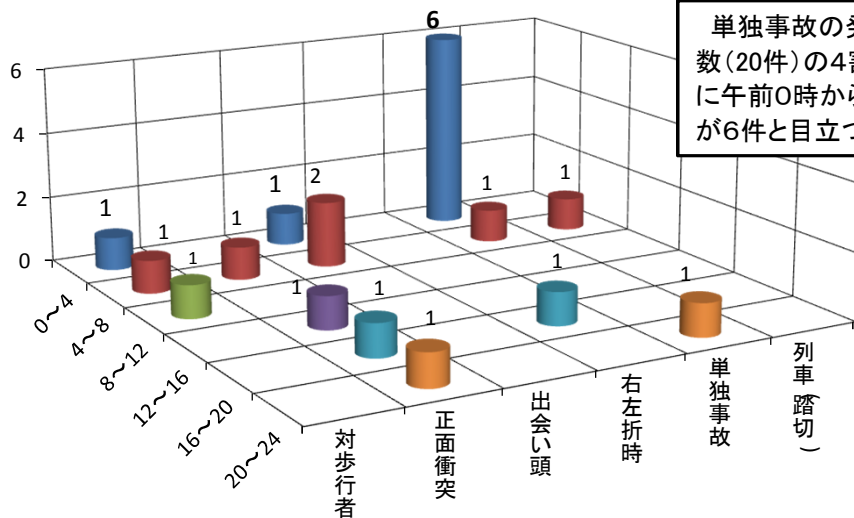
(5) 男女・年齢層別人数



(6) ブロック・道路形状別発生件数



(7) 時間帯・事故類型別発生件数



単独事故の発生が8件で全件数(20件)の4割を占めており、特に午前0時から午前4時の発生が6件と目立つ。